

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	<input type="radio"/>	利用料金制の採用	<input type="radio"/>	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
		常勤	非常勤		常勤	非常勤		
職員数	7	5	2	3	0	3		10
	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	2		4	1				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延 이용자数（人）	6,043	5,233	5,036			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
収入	78,973,994	76,587,060	67,127,160	0	0	
	指定管理料（清算後）	17,078,036	17,755,118	14,271,967		
	利用料金収入	61,639,219	54,567,569	52,196,397		
	その他収入	256,739	4,264,373	658,796		
経費実績	支出	80,232,725	77,591,473	78,110,984	0	0
	職員人件費	17,105,215	40,911,816	46,162,626		
	光熱水費	4,051,817	3,487,846	3,648,452		
	修繕費	593,512	2,579,541	671,138		
	事業運営費	38,604,432	5,887,052	4,325,050		
	施設管理経費	19,674,361	20,830,104	23,097,902		
	その他経費	203,388	3,895,114	205,816		
	差引収支額	-1,258,731	-1,004,413	-10,983,824	0	0
年度協定書で定める指定管理料	25,900,472	30,640,821	20,833,654			

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
施設の維持管理	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	- / -	×1 一 / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1 一 / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
事業運営	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5 15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2 6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3 9 / 15
区による評価合計点					70 / 90

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、

該当項目は「ー：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	コロナ禍により停滞していたボランティアの受入れを拡大し、歌、音楽及び踊り等を楽しむ機会を設けることにより、職員のみでは提供できない活動をより多く提供することができました。また、行事への家族参加を募り、ディイサービスへの理解を深めてもらえる機会を創出しました。さらに、地域から信頼される施設を目指し、ケアマネ事業者との連携に努めました。サービス面では、利用者ニーズに応じた選択制プログラムの提供を行い、リハビリにおいては個別機能訓練等による自立支援に取り組みました。 特に令和6年度は、インカムの運用を開始したことにより、介護職員、看護師、相談員及びドライバーの各職種間で効率的な業務遂行が可能となりました。また、コミュニケーションロボットの導入により、利用者の意欲的な言動及び活き活きとした表情を引き出すことができました。今後も、同一法人の協力病院及び併設の特別養護老人ホームとの連携により、医療処置が必要な利用者を受入れ、少しでも長く在宅生活が継続できるようサービスを提供していきます。 課題として、区内における有料老人ホーム等の開設に伴い、長年施設を利用していた多数の利用者が施設入所した結果、コロナ禍の終息後も稼働率が回復していない状況があります。そのため、今後は他施設で受入れが困難な利用者も受入れ可能な体制を整備し、延用者数の増加に努めます。
区（施設所管課）による評価	ボランティアの受入れ拡大及び介護ロボットの導入により、サービス面の充実が見られた点を評価します。また、インカムの導入により、職員間において効率的なコミュニケーションが図られるようになりました。次年度以降も、地域に根ざした福祉拠点としての役割を担い、利用者が安心して生活できる環境づくりに努めるとともに、新規利用者の獲得に向けた取組に期待します。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた (90%以上)

A：施設の管理運営は優れていた (80%以上90%未満)

B：施設の管理運営は適切に行われていた (60%以上80%未満)

C：施設の管理運営に改善が必要であった (60%未満)